

令和6年度 第一回 子ども・子育て会議 議事要旨

- 【開催日時】 令和6年8月22日（木）午前10時00分～11時30分
- 【場所】 総合福祉センター 3階 会議室1
- 【出席者】 加藤会長、奥委員、楠瀬委員、赤土委員、出川委員、畑山委員、藤田委員、峯委員、森下委員（計9名）
- 【事務局】 福祉部長、健康部長、福祉部次長兼生活支援課長事務取扱、健康部次長兼保健センター所長事務取扱、こども課長、保育課長、児童福祉課長、保育課員、児童福祉課員
- 【傍聴人】 2名
- 【議題】 第3期香芝市子ども・子育て支援事業計画策定における子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策について
その他

◆ 第3期香芝市子ども・子育て支援事業計画策定における子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策について

＜概要＞

第3期香芝市子ども・子育て支援事業計画の策定にあたり、1章、2章、5章を中心とした各児童福祉関連事業の量の見込みや確保方策について検討、協議を行うもの。

◆ ＜質疑・意見等＞

【質疑・意見1】

○委員

8ページの世帯数について、平成27年度の数字が第二期資料と違う。第2期資料が2万9681世帯で、今回の資料では2万7774世帯になっている。また世帯当たりの人員数についても第二期資料では2.61で、今回の資料では2.75であったため、ここは数字を合わせる必要があるのではないか。

○事務局

確認し、修正が必要であれば行う。

【質疑・意見2】

○委員

今回の資料で、特に2章について、令和5年度の数字で終わってるものと、令和6年度まで数字が入っているものがある。例えば、今回の34ページと35ページ、特定教育保育事業の待機児童については令和6年度のことが書かれているが、15ページの資料では令和6年度の情報が出ていない。これから作成される資料について、この点で整合性を合わせた方が資料としていいかと思う。

【質疑・意見3】

○委員

60ページの病児保育事業について、志都美こども園の令和4年度と令和5年度の数字が0になっている。令和4年度は利用があり、4年度は125人、5年度は140人であった。同じく、関屋こども園も令和5年度の数字が0になっているが、利用者がいたように思う。間違いであれば訂正をお願いしたい。

○保育課長

実績値を確認し、次回の会議にて改めて数字を報告する。

【質疑・意見4】

○委員

47 ページのこども誰でも通園制度について、第3期から新たに位置付けられる事業のため実績がないという報告は理解できる。この事業の量の見込みについては事業の詳細がわかり次第調べるとのことだが、どのようにして調べられるのか伺いたい。

○保育課長

今年度、年度途中からではあるが、先行してこども誰でも通園制度を実施している市町村がある。奈良県であれば奈良市が先行実施している。そういった自治体の状況を確認し、改めて国に制度の概要等の詳細な部分を確認してから、示すことができるかと思う。

○委員

人口をもとにした数字も活用されると思うが、実際に香芝市のどこにも通園されてない方が、どれぐらい本事業を求めておられるのかという量についても調査して結果を参考にしてはどうか。例えば、健診に来られる方へQRコードを配布するとか、保健センターのホームページとかインスタとかそういうところでアンケートをとり、どこの校区の方かという点まで聞くことができれば、大体の需要のボリュームが計れると思う。

○委員

奈良市では高円こども園で実施されていたと思う。ただ、利用に関しては制限があったようで、利用できる方の選定などがあったように思う。そういった点から、香芝市において量の見込みがどこまで分かるのか疑問に思う。また、もし量の見込みに対して確保ができなかった場合は、例えば新たな事業所等の公募を行うとか、その先のことをどのように考えているのか。

○保育課長

こども誰でも通園制度については、令和8年度から実施することが具体的に決まっているため、香芝市でも実施に向けて準備を進めていければと考えている。もし、受入キャパシティが足りないということがあれば、それに見合う対応をしていきたい。例えば、未就園の子どもたちが対象であるため、現状実施中の一時預かり事業などの別事業をご案内し活用いただくなどで、対応していきたい。

○委員

こども誰でも通園制度には、モデル事業の募集があったと思う。一つ目は、実際に全国では多分115自治体が手をあげてと思うが、誰がどうやって手をあげるかを決めて、なぜ県内では奈良市だけなのかが気になる。モデル事業に手を上げるような市になっていただきたいなと強く思う。二つ目は意見であり、事業のシミュレーションは、まだ始まってなくてもできるかと思うので、園側の受け入れ体制と、一般市民側にどれほどニーズがあるのか等の実態調査をもうやっていかないと、令和8年からの事業実施には間に合わないのではないかと思っている。

○保育課長

質問について、モデル事業の募集に手を挙げて実施されている市町村については、国の方から公募があり、申請した結果である。

○委員

香芝市では手を挙げるかどうか検討する会議はしていないのか。

○児童福祉課長

私が保育課在籍時、本事業のモデル事業に申請する準備をした。予算も計上したが、その時点では、あまりにも国の示している事業の中身が漠然とし過ぎている状態であった。見通しの持てない話を進めて

いくのはどうなのか。という考えのもとで、申請を見送る判断となった。

○会長

なかなかそういう情報が、私たち市民には回ってこないっていうところが、少しもどかしいところではある。今後できるだけモデル事業等には手を挙げていただきたいと思う。

【質疑・意見5】

○委員

ファミリー・サポート・センター事業のことで伺いたい。

サポート会員数が減少しているということで、この事業をもっと市民が知ることが重要に思う。今後、サポート会員数の減少により、この事業が活用できないとなってしまうといけない。この現状をどう打開しようと思っておられるのか伺いたい。

○児童福祉課長

サポートする側に関して、今まで車の使用ができなかったが、この令和6年度より自家用車を利用しての送迎等ができるというところを改革した。さらに、昨年度よりサポートする側の研修も年に1回だったのを2回に増やしている。それから今年度は、もしも送迎であれば養成校の学生等も力になってもらえないかというところで、学校に対して案内もしている。しかし、なかなかそこが上手く結びついていないところが、実状。

あとは、お願い会員とサポート会員のマッチングについて、まだまだアナログでやってるところがあるので、システム等の改築を行い、より一層使いやすいものになればという事を課題としている。

○委員

今、私は子育て支援の現場の中で、市の事業を利用してみたいという声を聞くことがある。

ファミリー・サポート・センター事業についても、「こんな事業あるよ」というのを紹介するが、「誰に見てもらえるかが分からない」という不安を言われる方が多い。ファミサポの紹介をしてみるが、知らない人に子を預けるハードルが高いようである。そこを、児童福祉課や育児コーディネーター等からも、お母さんたちに「安全だよ」というのを分かりやすく伝えることができればいいのではないかな。

○委員

ファミリー・サポート・センター事業の競合は、ベビーシッター事業になるかと思う。それをやるなら、時給1800円もらえるベビーシッター事業の派遣登録をするのではないかな。競合はそこだと思うので、お金で解決する問題である。

この事業特有の価値提供というのが分からない状況に思う。

すごくいい取り組みなのかと思うが、確かに「600円払ってんんだからこれもやって！」と何か勘違いしてる保護者さんが増えそう。

○会長

お話に出た点は、事務局側で整理の方をして事業運営に生かしていただければと思う。私は逆に利用者側の研修も必要になってくるかもしれないと考えている。

【質疑・意見6】

○委員

この度始まる事業、64ページの親子関係形成支援事業について伺いたい。

現在、子どもとの関わり方とか、子育ての悩みとか、そういう情報を自分のスマートフォンで調べるため、自分好みの情報しか入ってこないようなシステムになってる。その好みの外にある範囲の情報を知る機会が非常に少なくなっているのではないかな。親子関係形成支援事業の中で、保護者が1年に1回でも、子育てに関する講演会とかに参加できるよう、そういうものが市の主催であるといい。オンラインでも見れるようにすれば、よりいいと思う。

○委員

今はそのような講演会は開催していないのか。

ふたかみ文化センターとかで開催しているものは市が開催しているものではないのか。

○児童福祉課長

現在、児童福祉課では赤ちゃん学校というものを開催している。年に一度、いろんな先生をお招きして講演していただいている。しかし、周知が行き届いていないということもある。子育て世帯の保護者に対しての応援については、まだ児童福祉課としてはできていないのが現状。ふたかみ文化センターなどで行われている行事の中には、他課の子育てに関係する事業があるかと思う。

【質疑・意見 7】

○会長

7 の子育て短期支援事業、ショートステイについて、令和 5 年度に利用があったということを本当に嬉しく思う。今後、必要な場合に自分の周りに頼める人がいないということがあると思うので、今後の利用量の見込みをこれだけ見てくれており、これから広報をしたのちに、積極的に使えるようになれば嬉しい。

また、放課後児童クラブ・学童について、今回、公立の見込み量だけだが、私立も含めた形で考える方が全体の見込みがわかってくるのではないかな。

それから、44 ページから 46 ページのところの見込みについて。幼稚園保育所関係の見込みで、(1) の第 1 号認定の方については十分な見込みができてきている。

しかし、3 号認定の 1 歳児については心配かと思う。その部分について、3 号認定の 1 歳児の部分は足りていないというところで、そこをしっかりと見込めるように計画を立ててほしい。

他の市町村にお任せするというわけではなく、私たちの市で見込めるように、考えてほしい。

【その他】

○こども課長

公立幼稚園の開屋幼稚園休園に向けての報告

○事務局

今後のスケジュールの確認